

万能試験機(1,000kN アナログ式)

機械名	A02 万能試験機1,000kNアナログ式 常用使用800kNまで
型式	島津万能試験機 REH-100形
用途	金属材料、非金属材料(プラスチック、木材、窯業製品)の引張、圧縮、屈曲等の試験

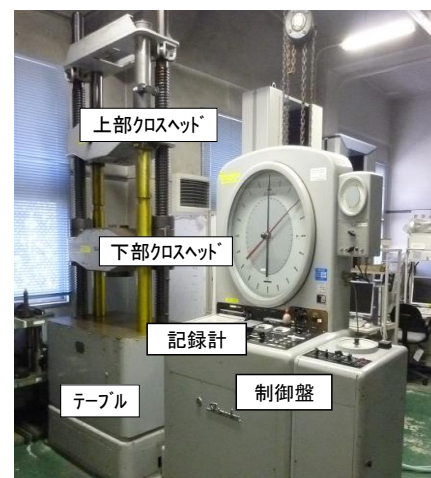
本体仕様

ラムストローク	250mm
テーブルの有効広さ	750×750mm
下部クロスヘッドの昇降速度	約450mm/min
引張速度	約0～80mm/min
測定レンジ	20, 50, 100, 200, 500, 1000kN
最小目盛	1/1000

(注)試験片のつかみ部はネジ切り又は鉄筋材のような凹凸等が無い事

引張試験・圧縮試験

引張試験	つかみ具間距離	25～1000mm	
	つかみ具	平板用	0～65mm (幅70mm)
		丸棒用	φ12～70mm
圧縮試験	下部クロスヘッドテーブル最大距離	1000mm	
	圧盤の大きさ(直径)	上、下ともに160mm	
	圧子の大きさ(先端R×幅):	R20×幅150mm	



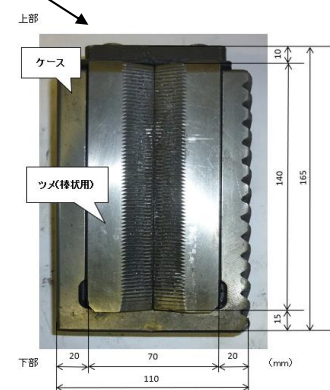
記録装置

ペン書きレコーダー	伸び記録倍率: 1:1
	チャート紙の大きさ: W225×L300mm (A4サイズ)

スペーサーの選択基準

形状	試験片の大きさ		選択スペーサー
平板	10～30	tmm	大
	30～50	tmm	小
	50～65	tmm	無し
丸棒	12～35	φmm	大
	35～55	φmm	小
	55～70	φmm	無し

切換え数値と合致した場合は、下段記入のスペーサーの方が試料挿入し易い。



(注)ツメの下部約10mmは、ケバが摩滅している。
図 1.000kN引張試験機チャック部の内面寸法

金属用3点曲げ試験 (耐荷重:400kN、常用使用:320kNまで)

圧子

ポンチ先端半径	R25 mm
ポンチ先端幅	140 mm

支持台

支点ローラ半径	R25 mm
支持台幅	160 mm
支点間距離	50～500 mm

